

目的

「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」の改訂にあたり、熊本地震への対応を振り返り課題を抽出すること、また、今後発生が想定される大規模災害（東海地震、南海トラフ地震）を見据えて対応することは重要である。

そのため、3ブロックにおいて図上訓練を開催し、広域支援・受援体制整備に係るモデル例を構築する。

実施内容

実施ブロック（実施自治体）	訓練内容
中部ブロック（三重県）	東海地震又は南海トラフ地震を想定し、図上訓練を予定
四国ブロック（徳島県）	南海トラフ地震の際の津波を想定し、図上訓練を予定
九州ブロック（熊本県）	平成28年に発生した熊本地震を振り返り、図上訓練を予定

＜実施時期＞

平成29年11月及び12月

＜訓練参加予定者＞

ブロック内自治体担当者、専門家（1～2名）、地方獣医師会担当者、環境省及び各地方環境事務所担当者 等

スケジュール

- | | |
|---------------|---|
| 1、平成29年11～12月 | 3ブロックにおいてモデル図上訓練を実施、結果の取りまとめ |
| 2、平成30年1月 | 「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」の改訂等に係る第3回検討会までにガイドラインに結果を反映 |

平成29年度動物愛護週間中央行事 (動物愛護講演会・パネルディスカッション)

平成29年度動物愛護週間中央行事
どうぶつ愛護フェスティバル
——ペットも守ろう！防災対策——

<屋内行事>

平成29年9月24日(日)

【動物愛護講演会】

○14:10～14:55 「ペットの防災対策を考える」

講師： 平井 潤子 氏

NPO法人アナイス代表 東京都獣医師会事務局長

<内容>

- ・災害時における動物救護の目的
- ・災害時における様々な避難のかたち（同行避難のかたち）
- ・避難生活でのポイント
- ・災害が起こる前に備えておくこと

【パネルディスカッション】

○15:30～16:30 パネリスト（50音順）

青木 貢一 氏

江口 ともみ氏（司会）

平井 潤子 氏

矢崎 潤 氏

（一財）ペット災害対策推進協会理事長

タレント 愛玩動物飼養管理士1級

NPO法人アナイス代表 東京都獣医師会事務局長

JAHA認定 家庭犬しつけインストラクター

<内容>

・災害が起こる前の対策

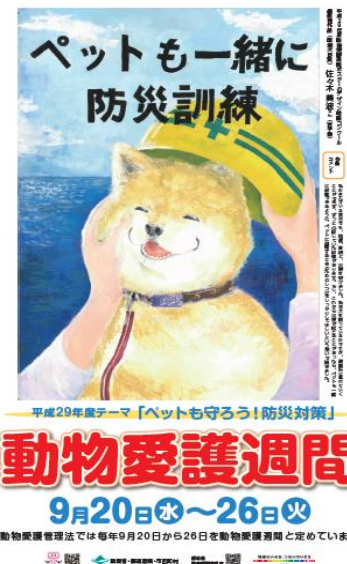
- ✓災害が起こった際の待ち合わせ場所、連絡方法等を事前に家族内で決めておく、飼い主仲間とも連携しておく
- ✓迷子札やマイクロチップ等による所有者明示を行っておく
- ✓災害時にペットはケージの中で生活する可能性が高くなるので訓練しておく

等

・災害が起こってからの対応

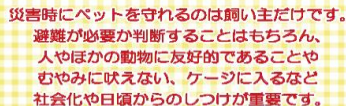
- ✓ペットが、平常時と異なる行動を示したり、体調を崩すことが多いため、平常時以上にペットを見守り、獣医師に診察をしてもらう
- ✓薬が必要なペット（高齢、障害、慢性疾患をもつペット等）を飼育している場合、薬の名前を覚えておくとともに確保しておく
- ✓ペットを安心させるために家族が冷静になること（ペットは飼主を見ている）また、ペットを直接抱きしめることが大切

等



＜リーフレットの作成（平成29年9月発行）＞

備えよう！ いつもいっしょにいたいから 2



◆ペットの情報◆

飼主の飼い主の情報

環境省
Ministry of the Environment

発行：環境省自然環境局総務課動物資源管理室
所在地：〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/sigoi/
編集：イラスト／つしままかこ

平成29年9月発行



避難が必要か判断することはもちろん、人やほかの動物に友好的であることやむやみに吠えない、ケージに入るなど社会化や日頃からのしつけが重要です。

＜災害時に役立つ社会化やしつけ＞

災害時に役立つ社会化やしつけ

社会化とは人やほかの動物、様々な物や環境と接していくことです。他人に友好的に接することができると、人へのストレスや不安が軽減され、接する機会や場面で接する時でも困りやすくなります。言葉に最も敏感な子犬といふのはあたりまえです。聴覚でも、視覚でも、嗅覚でも、味覚でも、触覚でも犬はゴシップの達人になります。やむを得ず伝えたりする。知らない人や他の動物がいても構わずにしゃべります。ケージやキャリーバッグに入るようにしておくことは、日本の生活でも重要です。

人や動物に慣らしておく

犬は下犬の頃から、なるべく多くの人や動物に慣らすことが社会性を身につけていきます。成長してからでも慣れにくい動物は多いことが予想されます。懐かき場合は、積極的に慣れようというより、早いうちから慣らすことが理想になります。苦手なことが原因で怖くないで、おやつがもらえるなど好きなものを報酬として、時間をかけて慣らしていきましょう。

また、早いうちから犬と犬の無防備な接触で、更には外の人にも慣らすていく必要があります。しつけからいって犬がポイントである、なるべくからか上（顔面）をのぞくようにします。



The illustration shows a light brown dog on the left, a person in a blue shirt and white pants in the center, and a white cat on the right. They are all standing on a light blue surface against a white background.

様々な言や物に慣らしておく

いつもと違う言や物に慣れさせることは、ベビークラスでもできることなんです。自分の心からいかに言葉や物に興味を持ってもらえるか、環境のなかでよく知れた言葉を聞きかせることがポイントです。

例：いつもと違う散歩コースを歩く、旅行や年中行事に行くなど

ベビークラスに慣らしておく

クレーンやキャリパーは動物園などに連れて行く時などに使います。子供から車を聞いたときでも簡単に言葉

[illegible]

＜災害時にペットと過ごす注意点＞

災害後にペットと過ごす注意点

自宅が危険な場合や避難指示が出ている場合はペットと避難場所へ同行避難します。また、避難所でのについては、災害の種類や避難場所の大きさ、被災者の数などにより様々です。安全な状態であれば、所に行かずに自宅にとどまるという選択もありです。状況に応じていろいろなシーンが想定されますので、自分とペットの安全を優先して選ぶようにしましょう。

避難所で生活する

避難所では人とベットの狭い場所を過ごし、ベットの部屋は狭い我が身が合うことが希望です。いかに上りの人に配慮し、静粛スペースや喫煙場の確保などへの配慮されたルールを必ず守ります。換気扇や換気口を常に開け、換気システムを稼働させることを怠るなといわれています。また、ベットの敷き布団は1日の終わりと毎朝30分程度で掃除することが強く勧められます。ケガや病気で寝てお困りした時、給食・トイレ・入浴を承ります。

自宅を生産する	車の中で生活する	施設に預ける
自給が可能な、自ら働いた 自宅で入居者がベトナムも中心 です。ただし環境問題と関係 は施設所に集まるので、必要 に応じて取りに行くようにし	持ち手を使わずに済ませる が、使い慣れた、エコ ポイントならまだ自然な ように定期的に車外に出 て動いたり、水気をこまめ	高齢者に入居しない場合や、特別 の事情、ベトナムの建設状況など より、自治体との関係性、財政情 況、制度運用などによって変わら れる場合があります。事前に

[illegible]

 バドミントンから バドミントンから	 この風景は、 これまでに 見たことがない。	 この風景は、 これまでに 見たことがない。	 この風景は、 これまでに 見たことがない。
 バドミントンから バドミントンから	 この風景は、 これまでに 見たことがない。	 この風景は、 これまでに 見たことがない。	 この風景は、 これまでに 見たことがない。

例えがわからない 性格のよい人、見 えがよい人など	必要に応じて声が 通じ、遠慮なく 連絡がとれる	親友の連絡が あったので毎週 で出ていく	
必要なものは すべて揃っている ように見える	必要なものは すべて揃っている ように見える	友達関係のほ うがよいので 毎日通っている	